



**家屋移転が完了しました**

平成十七年七月に締結した損失補償基準に基づいて交渉を行ってまいりましたが、ダム事業で計画された湛水池内に家屋がある水没地権者の皆さまのご理解とご協力をいただきまして、この度、全戸の移転が完了しました。

今後、ダム及び国道397号の付替工事に必要な用地など、地権者の皆さまのご理解とご協力をいただき、事業を進めてまいります。(移転後の落合地区)

つづき

# 津付ダムだより

発行所  
大船渡地方振興局土木部  
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

〒029-2502  
気仙郡住田町下有住  
字中上 333  
TEL 0192-48-3123  
FAX 0192-48-3121

岩手県ホームページ  
<http://www.pref.iwate.jp/>

## イベントのご案内

大船渡地方振興局土木部では、NPO法人環境パートナーシップいわてと協力して、『気仙川流域環境フォーラム』を開催します。

気仙川流域に住んでいる皆さまは、気仙川を中心とした河川環境や自然環境に対する意識が高く、住民の皆さまによる様々な環境保全活動が行われています。

今回のフォーラムは、そのような活動事例の発表などを通じて、親と子が一緒に環境について考える一つの機会として企画しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。(詳しくは、裏面をご覧ください。)

会場案内略図



## 平成十九年度事業

主な事業実施の予定は次のとおりです。

- ・ダム事業計画により、湛水区域となり通行出来なくなる国道397号の付替工事に着手します。
- ・流量観測、水質調査、貴重野生動物調査、付替道路の橋りょう設計等を行います。

- ・ダム及び付替道路で必要となる用地の取得、補償を進めます。

これらの事業実施に要する予算の総額は、六億六千万円を見込んでいます。

事業の進ちよく状況につきましては、津付ダムだよりなどで随時皆さまにお知らせしていきます。

## 質問コーナー

ダム、河川改修、環境問題などの質問をいただいております。今回は、ダムに関する質問の一部を紹介します。

(質問) 利水が無くなったのに、ダムは必要なのでしょうか。

(回答) 治水対策の有効な方法としてダムは必要と考えています。

(質問) 穴あきダムとして、放流口が常時開いている場合、どのようにして水が溜まるのでしょうか。

(回答) 一定の大きさの穴では流れる水量がほぼ決まります。通常は上流から流れてくる量が少ないと全て穴を通過します。雨が降って川の水量が多くなると、穴を通過できない分だけの水が溜まっていきます。

これ以外の質問も、今後ご紹介してまいります。(津付ダムの公式ホームページでもご覧いただくことができます。)

## お詫び

先に発刊した「津付ダムだより」平成十八年八月第一号の中でダムを建設する場所の図において、五葉山の位置表示に誤りがありましたことをお詫び申し上げます。

# 気仙川流域環境フォーラムを開催します

開催日 2007年 3月10日 土曜日  
場所 住田町農林会館（住田町役場の裏手です）

小中学生の部(参加費無料、第1部のみ事前申込みが必要です)

気仙川の早春の風物詩ともいえるヒカリ釣りや、映画鑑賞などを通じて、子どもたちが森と海をつなぐ河川の環境の大切さを知り、そして共に考える機会にしてほしいとの願いを込めて...

## 第1部 「気仙川、早春のヒカリ釣りに挑戦！」(申込み順に40名まで)

内容：子どもには難しいというヒカリ釣り、地元の達人たちにその極意を伝授してもらいながら、ヒカリ釣りに挑戦します。果たして、見事ヒカリを釣り上げることができるかな。

『森と海をつなぐヒカリ、ヒカリって何?』(ヒカリの生態について川の環境学習)のお話しも。

集合場所 9:30 農林会館前駐車場に集合(雨天の場合、室内で映画鑑賞とネイチャーゲーム)

持ち物 おにぎり、おはし、長靴(釣りの道具は用意しています。寒くないようにね!)

昼食 12:00頃、川の魚をおかずにして、みんなで楽しく食べましょう!

申込みは、大船渡地方振興局土木部(津付ダム建設事務所 48-3123)にお電話で!(3月7日まで)

## 第2部 「川と自然のこと、もっと知ろうよ、遊ぼうよ！」

内容：川や自然に関するアニメ映画をみんなで鑑賞。終わったあとは、ネイチャーゲームでハッスルしよう!

集合場所 13:30 農林会館玄関前に集合

16:00 終了予定

第1部だけでも、  
第2部だけでも  
両方でもOKです。

一般の部(自由参加、参加費無料)

## 気仙川流域環境フォーラム ～環境と子どもたちのために、今できること～

開催日 3月10日 午後1時30分～午後4時  
場所 住田町農林会館 大ホール

気仙川流域に住む人々による自発的な河川環境保全活動や、子どもたちの体験活動・環境学習などが持続的に行われるために、今何が必要か、気仙川流域での活動事例を紹介いただき、座談会で質問や意見を交わしながら、みんなで考えます。

13:30 話題提供：『子どもが自然から学ぶもの』  
講師 佐々木豊志(くりこま高原自然学校 校長)

13:45 地元活動発表：6団体(予定)  
横田小学校(陸前高田市) 横田小学校PTA(陸前高田市)  
すみた森の案内人(住田町)、緑のふるさと協力隊(住田町) ほか。

14:50 《休憩》

15:00 座談会：座長 内田尚宏(川と森のクラブ 代表、岩手県教育研究ネットワーク 理事)  
事例発表者のほか、会場にお越しの皆様からも意見をいただきながら進行します。

16:00 終了予定

主催：特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

後援：岩手県大船渡地方振興局土木部

問合せ：大船渡地方振興局土木部(津付ダム建設事務所 0192-48-3123)